

TOTO

壁付サーモスタット混合水栓

TBV01404型
TBV01405型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 85℃以下
	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う 使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。
	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓を開けてから行う また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

注意	
	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

2 仕様

給水・給湯 圧力	最低必要水圧(流動時)	0.05MPa(スパウト) ※セットするシャワーヘッドの仕様を確認ください。
	最高水圧(静止時)	0.75MPa
	使用最高温度	85℃以下
	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
用途		一般住宅浴室用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- やけど防止のため、60℃を超えない設定をしてください。快適な吐水温度を確保するために50~60℃設定をおすすめしています。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	取付脚部		その他
水栓本体 温度調節ハンドル パッキン スパウト 吐水口 切替ハンドル	偏心脚タイプ TBV01404型 止水栓付取付脚(2個) フランジ(2個)	ストレート脚タイプ TBV01405型 止水栓付取付脚(2個) 上部・下部カバー(2個)	施工説明書 必ずお客様にお渡しください 取扱説明書 使いかたラベル

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

TBV01404型(偏心脚タイプ) ※印は配管ピッチが(標準)の場合です。 (単位:mm) 	TBV01405型(ストレート脚タイプ) ※印は配管ピッチが(標準)の場合です。 (単位:mm)
--	---

6-1 施工手順

- 取付脚の取り付け
- 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃
- 水栓本体の固定
- カバーの取り付け (ストレート脚タイプの場合)

※シャワーヘッド、シャワーホース、シャワーハンガーは別売りです。取り付けは別紙を確認してください。

- 取付脚の取り付け
取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)
偏心脚タイプ (単位:mm)

 壁面に対して直角 200±5
 シールテープを巻くこと(給水・給湯)
 PJ1/2
 53±5
 左右止水栓の端面は壁面に対して平行で面一のこと
- ストレート脚タイプ**

 壁面に対して直角 150±5
 シールテープを巻くこと(給水・給湯)
 PJ1/2
 60±5
 左右止水栓の端面は壁面に対して平行で面一のこと

裏面へつづく

2 取り付け前に

給水・給湯管内の清掃

重要

商品を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

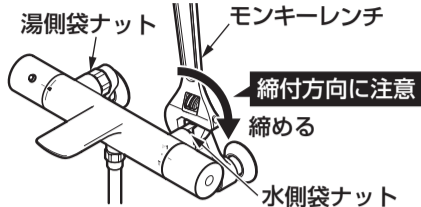
給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。
①吐水量が少ない
②温度調節がうまくできない
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流す。



3 水栓本体の固定

- ①水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。



注意

- ゆるみがないようにしっかり締めてください。袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

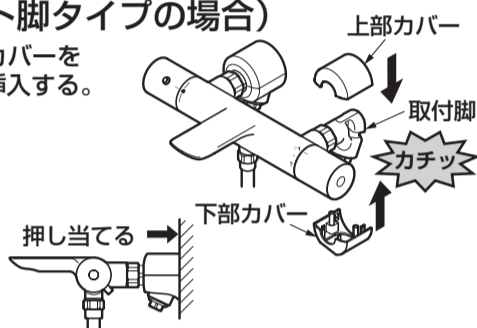
4 カバーの取り付け (ストレート脚タイプの場合)

- ①下部カバーを取付脚に取り付け、上部カバーを位置決めし、「カチッ」と音がするまで挿入する。

注意

カバーを無理に取り付けると爪が折れるおそれがありますので、位置決めを確実に行ってください。

- ②カバーを壁面まで押し当てる。



7-1 施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。

注意

シャワーを止めたあと、吸気口 (排水口) またはシャワーヘッドからしばらく水が排出されます。これは、シャワーヘッド内部の残留水を排出させているためです。故障ではありません。



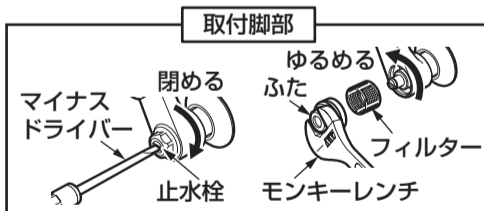
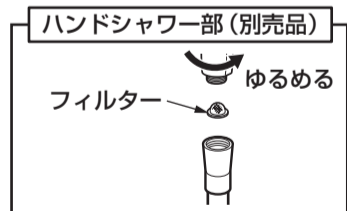
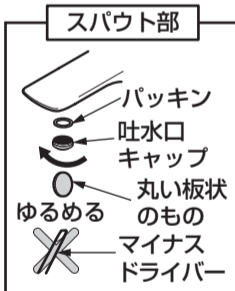
2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、フィルターを外してください。また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)

※吐水口キャップを取り外すときは、マイナスドライバーなど先の細いものは使用しないでください。



3. 流量の調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で止水栓を調節してください。

1. 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに戻し、切替ハンドルを下いっぱいに戻す。スパウトから水が出ます。
2. 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。
3. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに戻し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



警告

湯側の調節を行うときは十分に注意する
必ず実行 熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。



4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。快適な吐水温度を確保するために50~60℃設定をおすすめします。



2. 温度調節ハンドルのラインを"40"にあわせる。
3. 切替ハンドルのレバーを上側いっぱいに戻す。シャワーから水が出ます。



4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の温度設定を上げてください。やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。

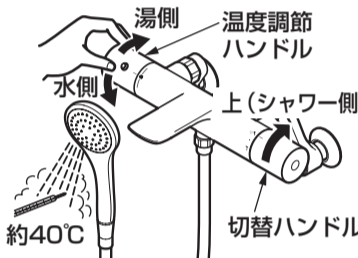


5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

1. 切替ハンドルを上いっぱいに戻す。シャワーから水が出ます。
2. 温度調節ハンドルをラインの位置に関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルはラインの位置が"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

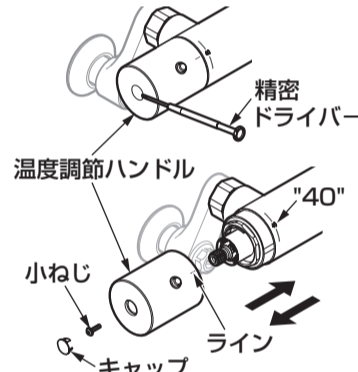


3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

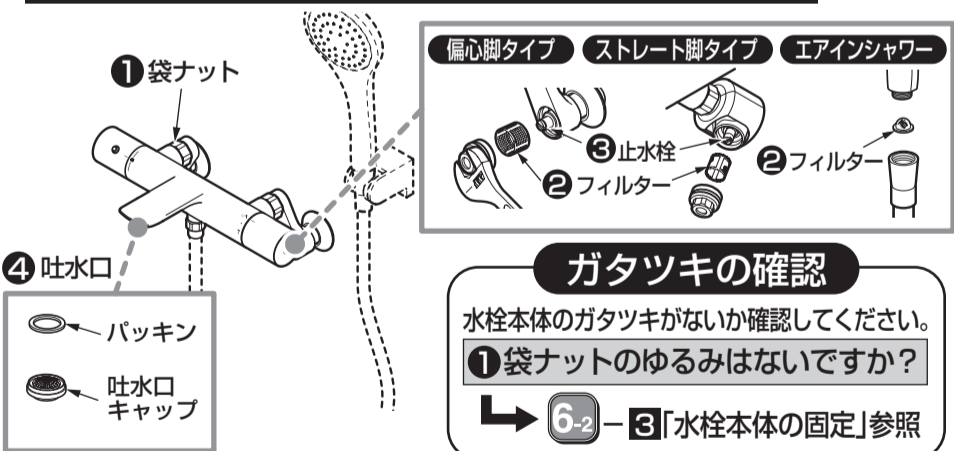
目盛り"40"の文字とラインをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。



5. 固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。

8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



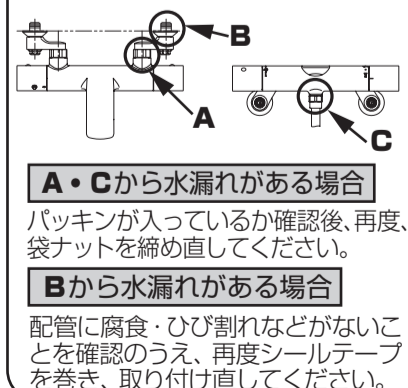
ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

- ①袋ナットのゆるみはないですか?
→ 6-2-3「水栓本体の固定」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



A・Cから水漏れがある場合
パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合
配管に腐食・ひび割れなどがなくことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ②フィルターのごみ詰まりはないですか?
→ 7-1 2. フィルターの掃除 参照
- ③止水栓は開いていますか?
→ 止水栓で流量を調節する。
7-1 3. 流量の調節 参照
- ④吐水口のごみ詰まりはないですか?
→ 吐水口の掃除をする。

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。